公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもデイサービスわこう皆生通り		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 5日		2024年 12月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19 (回答者数)	15
○従業者評価実施期間	2025年 1月 4日		2024年 1月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6 (回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 19日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	環境を整える事や行事など新しい事への取り組みに対して行動する事が出来る。	会議や気になった点を話し合う機会を設け、より良い環境作りに努めている。改善案に基づき実際にパーテーションを作成する等の取り組みを行っている。	今出来ている事を大切にしながら児童の負担になりすぎないような取り組みを提案、実行に移していく。
2	時間設定を行いメリハリをつけた生活が出来るようにしている。	学習、活動など児童が見る事や読む事で分かる方法で準備して取り組む事が出来るようにしている。各項目に参加できるように児童に合った学習物や支援物を準備している。	今後も継続的に取り組んでいながら、メリハリをつけて行動が出来るようになる事を視野に入れて療育を行う。
3	ご家庭との関係性。	送迎時やお迎えの際にご家族と出来る限り話しをする事で、寄り添える関係性やお子さんの成長、日々の辛さを共感できる関係性を築いている。	今後も実際に会ってお話しする事を大切にしながら、ICTを活用したやりとりも取り入れて更に連携を行い関係性を深めていく。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	児童の人数を考えると事業所の空間が狭く、自由なスペースと学習室のみとなっている。	建物に関する課題解決は難しいが、一つの空間で過ごす事がほとんどになる為活動内容に合わせた空間作りをする。	新年度になり新規児童が増加した為より安心出来る環境作りが必須となる。パーテーションだけでなく、コーナーを作る等過ごしやすい環境作りが今後も必要となる。
2	新規採用の職員を含め、全職員の支援の質を高めていく必要がある。	福祉の中にも様々なジャンルがあり、始めて児童福祉に携わる職員もいる。指導する側の質や方向性の統一が必要。	新規採用時の研修や全体会議の中で、支援の方向性だけでなく、具体例を出して療育について考え実践に繋げていく。
3	保護者会、保護者に向けた研修会の開催。	保護者会を前年度まで開催していなかった。	新年度中に行事と一体化させた方法で保護者会や保護者同士で話しが出来る場を設ける。